



小林 かなこ
〒152-0011
原町 1-12-2-201
☎6303-2628
企総/目総特

西村 ちほ
〒152-0035
自由が丘 2-6-19
1F
☎5726-9498
文教/目総特

鈴木 まさし
〒153-0041
駒場 1-34-10
☎4590-3380
生福

河野 陽子
〒152-0002
目黒本町
4-1-10-103
☎5725-3433
都環/議運

おのせ 康裕
〒153-0051
上目黒 4-18-12
☎3792-5199
生福/議運/目総特

宮澤 宏行
〒152-0023
八雲 2-25-12
☎3724-8209
生福

佐藤 昇
〒152-0001
中央町 1-3-7
☎3712-0399
企総

田島 けんじ
〒152-0032
平町 2-16-4
☎3723-2829
都環/議運

いその 弘三
〒153-0051
上目黒
3-21-28-205
☎5725-1388
文教

そうだ 次郎
〒153-0053
五本木 2-6-9
☎3760-4031
企総

「令和」新時代。選ばれるまちへ
新たなスタートの年。

自由民主党目黒区議団 幹事長 おのせ 康裕

新年明けましておめでとうございます。
美しい調和の御代、令和初のお正月をお迎えの事、心よりお慶び申し上げます。
昨年、区議会議員選挙で10名の自民党区議団が当選し、令和元年各地域で区民の皆さまの声を形に実現する活動をさせていただきます。
昨年、大型台風上陸の際、ホームページのダウンや避難所運営などの災害対策に万全な体制で臨む事ができず、改めて目黒区の危機管理の欠如が見られました。我が会派は、区に対し具体的に実質的な災害対策の再構築を緊急要望し、見直し検討を実施させました。
本年は我が会派が区民の皆さまと共に進めてきた待機児童ゼロ実現の年。今後は学童対策が急務の課題となります。また、ソサエティ5.0を目指して、AI等の効率的な活用による行財政改革を進め少子高齢化に果敢に挑んでまいります。
4月には目黒区長選挙、7月には東京都知事選挙、東京での2度目の開催となる東京2020オリンピック・パラリンピックの開幕となります。2回の選挙は新時代の幕開けにふさわしい見識と品格に満ちたリーダーをお選びいただき、国連SDGs憲章のテーマ「誰一人とり残さない」を目黒から発信致します。国の安寧をお祈り申し上げご挨拶いたします。

議員個人による年賀状など時候のあいさつ状は、公職選挙法により禁止されています。
新年のごあいさつは、本紙をもって代えさせていただきます。

- 委員会名の略称
企総＝企画総務委員会
都環＝都市環境委員会
議運＝議会運営委員会
生福＝生活福祉委員会
文教＝文教・子ども委員会
目総特＝目黒区総合戦略等調査特別委員会

暮らしの安全総点検！
未来を見据えて区政を改善します。

公明党目黒区議団 幹事長 山宮 きよたか

あけましておめでとうございます。
区民の皆様におかれましては、さらなる飛躍の年となりますよう、心からお祈り申し上げます。
2020年のスタートにあたり、私たち公明党目黒区議団は、令和の新時代を切り開く持続可能な区政運営をめざして、区民の皆様からのご意見・ご要望を直接伺いながら目黒区を総点検してまいりました。
まず改善していくべきは、区民の生命・健康・財産を守るための「防災・減災」対策と激甚化する「風水害」への取り組み強化です。
特に、緊急事態に対する準備・対応・復旧という行動計画を区役所全体で再構築し、正確な情報発信などの危機管理体制を強化すること。そして、少子高齢化社会への需要変化に適切に対応した地域コミュニティの拡充や地域防災力の向上策、子育て・教育環境の整備や福祉の充実を図ること等、今後も効果的・効率的な予算執行を推進させてまいります。
公明党が結党して55周年という大きな節目を迎えました。今一度、立党の原点である「生活者の声」を大切に、区議会・都議会・国会と連携し「ネットワーク政党」として政策を実行する強さを活かして、安全安心で住み続けられる目黒区の構築に向け全力を尽くしてまいります。

いじま 和代
〒153-0065
中町 1-16-17-101
☎3760-5800
文教

佐藤 ゆたか
〒153-0063
目黒 1-24-16-901
☎3779-5205
企総

川原 のぶあき
〒153-0051
上目黒
5-26-6-301
☎5734-1152
企総/目総特

山宮 きよたか
〒152-0031
中根 2-5-7
☎090-1455-9466
生福/議運

関 けんいち
〒152-0002
目黒本町 5-30-21
☎3791-3953
都環/議運

武藤 まさひろ
〒152-0023
八雲 4-5-20
☎3718-8234
文教/目総特

橋本 しょうへい
〒153-0052
祐天寺
2-17-3-108
☎080-5090-2560
文教

金井 ひろし
〒152-0032
平町 1-21-20-303
☎080-5195-2909
生福

山本 ひろこ
〒153-0061
中目黒 3-6-2 5階
☎050-3772-5704
企総

梅田 まさみ
〒152-0022
柿の木坂 2-20-22
☎6421-3499
都環

西崎 つばさ
〒152-0002
目黒本町 6-15-3
☎090-1796-5099
生福/議運

鴨志田 リエ
〒153-0051
上目黒 3-20-6
☎3715-7313
都環/議運/目総特

かつて経験したことのない社会へ
立憲民主・目黒フォーラム 幹事長 西崎 つばさ
令和となって初めて迎えた年明け。謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年の改選後に新たに結成された、立憲民主党と無所属の議員で構成する我が会派も、活動開始から半年あまりが経過し、皆さまにお支えいただいていることに心から感謝を申し上げます。
さて、本年は東京オリンピック・パラリンピックイヤー。全世界が注目する平和の祭典の成功を願うばかりですが、やはり政治は華やかな舞台だけではなく、日々の暮らしをめぐる一つひとつの課題と向き合っていかなければなりません。
異常が日常になってしまった気象災害や、いつか必ずやってくる大地震への対応。老後や子育ての不安。未知の時代に備える教育。自分らしい生き方の実現。
これらの解決に向けて、新しい道を指し示す役割が、いまの政治には強く求められているのだと思います。
もちろん、そのためには区民の皆さまの力が不可欠です。「おまかせ民主主義」を超えて、かつて経験したことのない社会を着実に歩んでいく方法を、ともに模索してまいります。
区議会は、区議会議員は、あなたです。

区民の暮らし支え、区民の声が生きる区政をめざします！
日本共産党目黒区議団 幹事長 岩崎 ふみひろ

あけましておめでとうございます。
昨年10月に安倍政権が消費税の10%への増税を強行し「家計がいつそう大変になってきた」との声が上がっています。消費税5%への減税をめざすとともに、区政では区民負担の軽減、くらしを支える施策拡充のため力をつくします。
昨年は相次ぐ台風で、区内でも目黒川流域で避難勧告が発令されるなど全区で400人を超える方々が避難しました。避難所運営や災害情報の発信のあり方、要配慮者の方々のフォローなど課題があります。大地震対策とともに風水害対策強化をめざします。
現在の目黒区は、積立基金総額は2011年度末と比べ18年度末には425億円と3倍にもなりましたが、区民生活の支えはきわめて不十分です。国保料や施設使用料の引き上げなど負担は増え続けています。区民の声をよく聞き、行政計画を区民が参加してつくり上げていくシステムも弱い。
4月の区長選挙では、福祉や子育ての充実、区民センターの今後の計画に区民意見をしっかりと反映させること、区政運営の根幹に基本的人権の尊重、平和の推進、住民自治の促進がしっかりと位置づけられる区政誕生に向けがんばります。

芋川 ゆうき
〒152-0013
南 3-14-17
☎090-4206-2048
文教

斉藤 優子
〒153-0044
大橋 1-7-2-101
☎3496-4704
企総

松嶋 祐一郎
〒152-0023
八雲 1-8-4
☎3723-7622
都環/議運

岩崎 ふみひろ
〒152-0002
目黒本町
6-4-1-405
☎080-3424-1200
企総/議運

石川 恭子
〒153-0052
祐天寺 2-19-15
☎080-3408-0027
生福/目総特

かいでん 和弘
〒152-0013
南 1-1-11
☎090-3145-1156
都環/目総特

あおき 英太
〒152-0011
原町 2-7-11
☎3791-0800
生福

よしの まさと
吉野 正人
〒152-0023
八雲 2-18-5
☎3725-8973
文教/議運

無会派

かわはた しんじ
川端 しんじ
〒152-0035
自由が丘
3-9-6-B-201
☎080-9561-4612
都環

岸 大介
〒152-0033
大岡山
1-13-10-303
☎6421-1941
都環

しらかわ あい
白川 愛
〒153-0063
目黒 2-11-3-1F
☎080-7505-0905
文教

すどう 甚一郎
須藤 甚一郎
〒152-0034
緑が丘 1-11-3
☎3723-8167
企総

たぞえ 麻友
〒153-0065
中町 1-7-4
☎080-8885-6965
文教/目総特

まつだ 哲也
松田 哲也
〒152-0022
柿の木坂
2-13-18-B棟 111
☎6421-1906
生福

子や孫の将来世代に責任をもって引き継げる目黒へ！
新風めぐろ 幹事長 吉野 正人

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。
昨年は自然災害による被害が全国的に発生しました。特に台風による被害が首都圏を中心に甚大な被害をもたらしました。これまでは防災対策といいますが、どちらかと言えば首都直下地震対策を中心に対応してきましたが、昨年の台風被害状況を鑑み、風水害等を含めた総合的な防災対策を充実させる早期の対応が必要です。万が一の際に住民の生活を守るこそ、区の最大の使命であり、区民の安全、安心を一層充実させる取り組みを行って参ります。
一方、長期的な視点での対応については、策定から既に18年が経過した現行の基本構想を今後の社会情勢の変化も踏まえた21世紀半ばの将来を展望した内容に見直すべく、本年12月の策定に向けた改定の取り組みを着実に進めていくことが重要であり、更には、区民生活や区内経済に留意するのは勿論のこと、サービスの質を低下させることなく行政のスリム化を図り、歳入規模に見合った事業のあり方を実現していくべく、施設、事業等の見直しを実施されるよう注視し、子や孫の将来世代に責任をもって引き継げる目黒の実現に向け取り組んで参ります。